

C-4

出展団体名	(独) 農業・食品産業技術総合研究機構中央農業総合研究センター 特定非営利活動法人農業ナビゲーション研究所	
発表者所属	特定非営利活動法人農業ナビゲーション研究所	
発表者氏名	代表理事専務 木村浩	
発表タイトル	「農薬ナビを活用した農薬使用リスク管理システム」の開発実証と 「生産資材適正使用ナビゲーションシステム」の取り組みのご紹介	
ねらい	<input checked="" type="checkbox"/> ビジネスパートナー探し <input type="checkbox"/> 共同研究パートナー探し <input type="checkbox"/> 共同製品開発のパートナー探し <input type="checkbox"/> 所有技術シーズの顧客（ライセンス）探し <input type="checkbox"/> その他（ ）具体的に	
キーワード	①農薬ナビ	②農業生産資材
	③適正使用判定支援	④履歴自動記帳
要 旨 (アピールポイント)		
<p>「農薬ナビを活用した農薬使用リスク管理システム」の開発実証 (平成17年度ユビキタス食の安全・安心システム開発事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先端技術を活用した農林水産研究高度化事業「農薬適正使用ナビゲーションシステム(農薬ナビ)の開発」の研究成果を活用。 ・農薬誤使用を事前に判定・警告することにより農薬使用リスクを最小化し、適正な農薬使用を支援し、履歴情報の自動記帳や公開を可能にするシステム。 ・JAてんどう(山形県)や農事組合法人和郷園(千葉県)での現地実証により、システムの有効性と実用性が確認。利用者の評価も高く、全国的な普及が期待される。 <p>「生産資材適正使用ナビゲーションシステム」の取り組み (平成18年度ユビキタス食の安全・安心システム開発事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・動物用医薬品などの生産資材全般の総合的な使用内容の事前判定と履歴自動記帳などに対応するシステム。 ・全国の複数のJA等が低コストで利用できる汎用的な集中情報処理提供システムを構築。 ・(社)中央酪農会議と共同で、生乳生産安全管理のための機能を構築。全国の酪農家への普及を図る。 ・地図システムの活用により、ポジティブリスト制度でのドリフトの判定支援を行う。 		
特記欄		